

一般質問

・御前崎市の子育て支援について



齋藤佳子

子育て世代への防災対策について、特に妊産婦の方々への防災対策について

答

御前崎市防災計画には妊産婦を含む要配慮者の避難は、早めの段階で避難行動を開始することを求めております。対策としては避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は親戚や友人の家への避難など平時より避難先の順番を決めておくよう市民の皆様にはお願い申し上げます。今後は、ホームページやパンフレットなどを活用し、妊産婦や未就学児童のご家庭への避難について、情報提供を考えております。

お母さんたちへの学びの機会の充実について

答

出産前に「パパママセミナー」、また第一子を出産された母親にはベビー教室を開催し、昨年度は6割を超える方が参加しています。核家族化が進み支援者の少ない家庭も増加し、子育ての不安や悩みは多岐に亘ること

から、個々に合わせた相談・支援にも力を入れてまいります。

御前崎市人口ビジョン（2035年出生率2.07）について

答

国が策定したわが国の人口1億人を確保するための目標である合計特殊出生率2.07を基本としております。また令和元年に静岡県が行った調査は、既婚者が予定する子どもの数も2.07人であり、県民自身が望んでいる数値でもあります。第2期総合戦略の推進については、第1期の基本的な考え方を継承するとともに、新技術の活用や新しい時代に即した施策の実現、若い世代の人が安心して結婚・出産・子育てができる環境整備に向けて、市民を巻き込んだ「オール御前崎」で取り組んでまいります。



一般質問

・産廃問題について



鈴木克己

大栄環境(株)に対する具体的にどの様な方法で撤退を要求していきますか

答

本年1月10日に大栄環境と面会し、計画断念を強く申し入れました。今後も、こちらから大栄環境に出向くことも選択肢の一つとしながら、粘り強く撤退を要請していきたいと考えます。

撤退決定の具体的な時期については、こちらで明言できません。

現在行われている契約無効を求める民事裁判に対しどの様な決着を想定していますか

答

現在係争中でありますので、この場での答弁は控えさせていただきます。

大栄環境(株)の事業撤退は市長の選挙公約ですが、いつまでに果たしますか

答

撤退決定の具体的な時期については、こちらで明言できません。

産廃に関する住民監査請求の内容結果についてお伺いいたします

答

昨年12月、産廃処理施設設置の賛否を問う住民投票を実施したことでの、市長らが市に損害を与えたとして、池新田財産区の区民13人が住民監査請求を行つたものです。審査の結果、経費は市議会で補正予算案として可決され、公職選挙法に準じた支出であり、違法、不当な支出は存在しないため、住民監査請求の要件を満たさないと判断し、却下しました。

行政指導による事業撤退を求めますか

答

本契約に規定する契約の解除条項に該当しないと考へています。計画がなくなれば、契約が不必要になると考へています。